奈良県がん対策推進計画（第2期計画） 素案 概要 （計画期間：平成25～29年度）

全体目標

基本理念：　がんにならない、がんになっても安心できる奈良県を目指す

- **がんにならない、がんで若い人がなくならない**
  【目標値】：がんによる75歳未満の死亡者数1500人（H29）
  （75歳未満年齢調整死亡率20％減（対H19年））
- **すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる**
- **がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域社会をつくる**

分野	重点 1 がん医療			2 がん患者等への支援		3 がん登録	4 がん予防	重点 5 がんの早期発見	6 がんの教育・普及啓発
	（1）がん医療の提供	（2） 緩和ケア	（3）地域連携	（1）相談支援・情報提供	（2）がん患者の就労を含めた社会的な問題				
目指す姿	○がん患者が、県内の医療機関で、より質の高いがん医療を受けることができます。	○すべてのがん患者とその家族が、居住する地域にかかわらず、必要な時に質の担保された切れ目のない緩和ケアを受けることができます。	○がん患者とその家族が、地域での生活を維持しながら、診断、治療、さらに在宅、看取りまで切れ目のない地域連携による質の高いがん医療を受けることができます。	○すべてのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受けることができます。	○がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができます。	○本県の罹患率、5年生存率等が明らかとなり、がん対策の推進に活用されています。	○県民が、がんの発症と生活習慣の関係について正しい知識を持ち、がんの発症を予防する努力をしています。また、県民の健康意識が高まり、規則正しい生活習慣を心がけています。	○県民が検診の重要性を理解し受診しています。また、有効な正しい方法のがん検診が行われ、早期発見されて、がんで若い人が亡くならない社会になっています。	○県民が、子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がんの予防や早期発見に注意を払っています。また、自分や身近な人ががんになっても、それを正しく理解し、向きあっています。
	○上記の目標を達成するため、手術療法・放射線療法・化学療法のさらなる充実とそれを実践できる効果的なチーム医療体制の整備が進んでいます。	○上記の目標を達成するため、患者やその家族ががんと診断されたときから緩和ケアを受けることのできる体制の整備が進んでいます。	○上記の目標を達成するため、がん診療に関する地域連携体制の整備が進んでいます。	○上記の目標を達成するため、がん患者やその家族が活用しやすい相談支援体制の整備が進んでいます。	○上記の目標を達成するため、事業者等において、がんやがん患者に対する理解が進んでいます。	○上記の目標を達成するため、地域がん登録の精度が向上しています。	○上記の目標を達成するため、県民が、がんに罹患するリスクを理解し、有効な予防法について実践できるようになっています。	○上記の目標を達成するため、県内で効果の高い検診が実施されています。	○上記の目標を達成するため、がんについて学ぶことのできる機会が整備されています。
施策の柱	●がん診療体制の充実 ●がん診療情報の提供	●患者やその家族のニーズの把握 ●緩和ケア提供体制の整備 ●県民への緩和ケアの普及啓発及び情報提供	●患者やその家族のニーズの把握 ●地域連携体制の整備 ●県民への地域連携体制、在宅療養の普及啓発及び情報提供	●患者やその家族のニーズの把握 ●相談支援機能の強化 ●ピア・サポート活動の活性化 ●県民への情報提供	●患者やその家族のニーズの把握 ●相談支援・情報提供機能の強化 ●事業者への啓発	●地域がん登録の精度の向上	◇喫煙 ●知識の普及と啓発 ●禁煙支援体制の充実 ●受動喫煙防止対策の推進 ●未成年喫煙防止教育の充実 ●妊産婦の喫煙・受動喫煙対策の充実 ◇食生活等の生活習慣 ◇持続感染予防	●がん検診受診促進 ●精度管理の向上 ●石綿ばく露健康影響の周知	●がんに関する正しい知識の普及啓発